



平成25年11月20日
飯田 恭次
賀 出 所

号者局
90頁務
行
第路車

上野賀四丁目開発計画

三河総合支所街でリ線
上野賀四丁目は、閑静で
みどり豊かな街並みが広が
っています。

この地区では平成二十二
年二月に、地元の方々によ
り街づくり協議会が結成さ
れ、自分たちが住んでいる
この地域をどうしていくの
か、近い将来の国家公務員
宿舍廃止や、衆議院速記者
養成所跡地の土地利用転換
を契機として、街づくりの
検討が始まりました。

公務員宿舍の跡地利用に
ついては、協議会で街づく
りルールが検討され、近
地区街づくり計画原案とし
て区長に提案される予定で
す。

また、衆議院速記者養成
所の跡地は都市計画公園と
して整備されることになり
、協議会や地域住民ワーク
ショップを通じて「こんな
公園になったらいいな」と
いう意見がまとめられ、数
年後には「上野賀公園」が
開設される予定です。



あの頃あそび今は無いもの

東京オリンピックに向けて向か
う高度成長時代に姿を消し
た懐かしい物達... 井戸（
冷蔵庫の役割もした）、コ
ンクリの据え置き式ごみ箱
（収集は大八車）、引き戸
が金網張りの台所の戸棚・
罎帳（傘のように開くとテ
ントの形になる食卓用の蚊
帳）。ハエ捕りリボン（壁
につくと大変だった）。
卓袱台（折り畳み式座卓）、
蚊帳（網戸普及で姿を消す
）。汲み取り式便所。杉の
風呂桶（薪か石炭で焚いた
）。湯加減どうですか！
と聞いて面白い焚きをした。
今より不便だったが、心
は豊かな時代と懐かしむの
は私だけでしょうか。

私たちのまち昔今これから

瀬田小学校卒周年

瀬田小学校卒生 榎木 明

皆様もご存知かと思いま
すが、去る十月十二日に、
瀬田小学校の開校六十周年
を祝う記念式典と祝賀会が
大勢の方にお越し頂いて、
華やかに催されました。

六十年という歳月は、人
間ならば還暦という大きな
節目の年です。この六十年
間で、この地域の風景は大
きく変わったことと思いま
すが、「この地域にお住ま
いの皆様の温かい気持ち
は変わりなく、ずっと受け継
がれているのだ」。そんな
ことを考えた素晴らしい一
日でした。

地域の皆様には心から感
謝いたします。
ありがとうございました。

水道みち

青島市 高橋佳一

用賀一条通りは昔、水道
みちと呼ばれ、碓氷水場か
ら駒沢給水所まで、水道管
が埋設されたのは大正時代
と聞いています。私の子供
時代、このみちには車が通
行できないように石杭があ
りました。

また、昭和六一年には新
しい水道管（ハ〇〇リ径）
となり、現在に至っていま
す。その間、このみちは町
の変貌をつぶさに見てきま
した。

現在解体が進んでいる、
この水道みちと環八とが交
わる地点にあるビルは、二
年後にはマンションになる
予定です。また一つ町も人
も変わっていきます。

田中橋今昔

三河市 山本 昇

田園都市線用賀駅南口を
出て、道路左上に首都高速
三号線が通り、その下に流
れるのが谷沢川、そこに架
かる橋、昔そこを挟んで両
側一帯は田んぼで、村人は
この橋を田の中にある橋だ
から「田中橋」と呼ぶ様にな
ったと言う。

私の記憶にある橋は小学
校四、五年の頃で、この橋
を渡る道路は「大山街道」
と言い、そこに路面電車の
玉川線が通行人と一緒にこ
の橋を渡っていた。その頃
の周辺は民家も少なく、青
々とした田畑、雑木林など
があり、又、夏には螢が群
び交う詩情豊かな風景が随
所に見られた。

木洩れ日

飯田恭次

雲無心、秋空を白い雲が
ゆっくり流れて行きます。

今年は世界文化遺産に指
定されたせいか、富士山も
殊の他、美しく見えます。
そして、二〇二〇年の東
京オリンピック開催決定、
国際社会の中で、日本が注
目された年となりました。

夏の都議会、参議院のゲ
ブル選挙は、予測通り自公
の圧勝、投票率の低下が気
になりましたが総体的には
政界の世代交替、若返りを
進めたと云えます。

私事になりますが、今夏
、生れて初めて長期病床生
活を送りました。入院が梅
雨前の五月二十九日、退院
は立秋を過ぎた八月十七日
と、八十一日間、夏の猛暑
、熱中症、各地の集中豪雨
等はテレビのニュースを見
ながらの毎日でした。そし
て今、元気に日常生活に戻
る事が出来て、その間、お
世話になった医療、看護関
係の皆様にあらためて心か
ら感謝をしています。又、
車椅子を利用して、所謂パ
リアフリーの大切さを、
身を以て体験いたしました。

気が付けば人生八十年時
代、本格的な長寿社会に入
って行く中で、私は自分の
身体は天からの預りものと
云う事を忘れずに、無理せ
ず、焦らず、健康第一...
と日々を過ごして行きたい
と思っています。



郷土紹介

大山道のあしあと (三)

平田良孝

今、相模の大山への登山口となっている伊勢原は、かつて「猪谷庄」と云われた所、後に「千ヶヶ原」とも呼ばれ、伊勢原の地名は元和五年（一六一九）、江戸時代に入って、この地を開拓した伊勢山田出身の曾右衛門等の縁に因み、又、伊勢大神宮を鎮守として祀った為に誕生したとの事です。

時を遡ると、奈良時代、聖武天皇による佛教を通じての中央集権国家体制が形成されて行く中で、相模の国の国府は平塚の近くに置かれ、今の海老名市に国分寺が建てられました。

一方、大山に係る年表で

は、良弁僧正により雨降山（あめふりさん）大山寺が創建されたのが天平勝宝七年（七五五）、大山阿夫利神社の名は延喜五年（九〇五）、延喜式神名帳が編纂された時、相模十三社の中に登場します。

その後、大山は山岳信仰神佛混淆の道場として、多くの修験者達、山伏が峰入りします。

そして、この修験者は次第に武装集団としての色合いを深め、鎌倉幕府の源頼朝や室町幕府の足利尊氏、小田原北条氏の支持を受け、時には合戦に加わり、戦国時代、秀吉、家康連合軍が小田原攻めをした時、その支城、山中城を守った主力は大山の修験者達です。



二子玉川に飛行場があった

吉澤 山田修一

皆さんは二子玉川にかつて飛行場があったことを知っていますか？兵庫島の400m位上流から西端は碓下海水場の近くまで滑走路が伸びていました。コヤマドライビングスクールの南、野川と多摩川の間に挟まれた河川敷です。

それほんと？

名前だけはバス路線の停留所に「脱走飛行場前」として残っていましたが、今は「二子玉川緑地前」になっています。尚、当初からの併設施設であった日本初の落下傘練習塔は昭和26年に江の島に移築され、旧展望台として親しまれて来ました。（二子玉川緑地会）

脱走新聞社が昭和13年に土地を国から借り受けて建設、同社の通信連絡・新聞原稿輸送・写真撮影等に利用されていました。更にグライダー普及のため、日本グライダー倶楽部を創設して体験飛行も実施されたそうです。

通信網の発達に伴い東京オリンピックの頃には頻繁

少年時代

吉澤 山田修一

大塚勝利

物心ついた頃、家から200m程北西の玉川通り（旧大山街道）に玉電瀬田停留所があり、ツートンカラーの鉄の塊にも見える客車と砂利を積んだ車面が連結して走っていたのを覚えて

わが故郷

生れは瀬田で小作人の貧しい農家だ。終戦後の農地改革で自分の田畑を持て、毎朝東に向い「マツカーサー元帥様有り難うございます」と拝み朝食を頂いた。

我家にはいつも十五、六頭の豚がいて餌の調達が私の仕事だった。自転車でリヤカーを牽引し二斗入りの肥糞を3樽積んで走った。叔母の製麺所と従姉妹の蕎麦屋で残飯をいっぱい詰めて帰る。重くて少年の私にはきつかった。

中学時代から蕎麦打ちが好きで寝られるとその気になり、蕎麦屋に修業に行く事になった。小僧の仕事は出前と掃除。辛かったが出前でなじみになった映画技師さんに映写室から映画を見せてもらった。玉電のポイント検作室を見学させてもらったりと楽しい思い出もある。

スポーツ

歳末助け合い・地域支えあい募金運動
11月15日（金）12月13日（金）
古瀬・古布回収
11月30日（金）11月30日（金）
京セラ駐車場（玉川台2-14）
火の用心



軍国日本が平和日本に変わったのは昭和二十年。首都東京がコンクリートの町に姿を変えて行ったのは昭和三十九年の東京オリンピック、昭和は本当に遠くなりました。

気が付けば平成の世も二十五年、七年後、東京オリンピック開催の時、東京は、私たちの町は、どう変わっているのでしょうか。

本号は町の足跡を振り返り、語り部として皆様に登場していただきました。

よみがえりニギハヤヒ（YCC）住民主導の総合地域型スポーツ・文化クラブ（YCC）が発足から十周年を迎え11月3日（日）用賀中学校で大運動会が開催されました。

そして、私たちの町は静かに、その移り変わりを眺めて来たと言えそうです。本年も残り少なくなりました。お元気に新年を...

（飯田）